

インドネシア研修旅行

九州大学グリーンアジア国際リーダー教育センター・助教

渡辺 貴史

日程：2017年9月11日から18日

場所：インドネシア、スラカルタ市、セベラス・マレット大学(UNS)

概要：ICIMECE2017への参加、インドネシア大学の学生との交流、インドネシアの史跡訪問

スケジュール：

9月11日(月)～12日(火)	19:45(日本時間)	移動
	10:20(現地時間)	
9月12日(火)	11:00～12:00	Kreis博物館見学
	12:00～14:00	昼食、ホテルチェックイン
9月13日(水)	08:00～19:00	ICIMECE2017に参加
9月14日(木)	10:00～20:00	ハイブリッド・エレクトリック・ワークショップに参加／ボロブドゥール遺跡を見学
9月15日(金)	07:30～17:30	バッテリー製造工場でのワークショップに参加／Sangiran博物館を訪問
9月16日(土)	08:30～12:30	バイオマスと自然染料に関するワークショップ
	15:00～18:00	マイクロ水力発電に関するワークショップに参加
9月17日(日)	08:00～11:00	自由行動(Danar Hadi博物館見学など)
	13:15～	帰国の途につく

研修の目的：

本研修の目的は、第一にグリーンアジアの学生諸君に国際学会での発表の機会を設けること、第二に現代インドネシアの産業に関する知識を得ること、第三に単にグリーンアジア学生間だけでなくセベラス・マレット大学の学生との交流を深めること、そして第四にインドネシアの文化、歴史、産業の実態について見識を深めることであった。

研修の詳細：

今回のインドネシア研修旅行は、GA学生11名と教員3名の計14名で実施された。9月11日午後に出発し現地時間9月12日午前10時現地到着となった。到着早々、スラカルタ市に今年度設立されたKeris博物館を訪問した。これは古代から現代までのインドネシアの伝統的な刀剣(kerisあるいはKris)を専門に展示する博物館で、インドネシアの伝統文化を学ぶ上で貴重な訪問となった。宿泊所では、夕食の際にUNS大学の学生との交流の機会が設けられた。

13日はセベラス・マレット大学でのICIMECE(International Conference on Industrial, Mechanical, Electrical and Chemical Engineering)2017が開催された。午前中は3名のキースピーカーによる講演があり、午後はGAの学生数名がプレゼンテーションを行なった。14日は午前中にHybrid Electricワークショップに参加、その後

ボロブドゥール遺跡を見学した。15日は午前中Battery Manufacturingワークショップに参加、午後はSangiran博物館を訪ねた。16日は、午前中Biogas and Natural Dyeワークショップに参加、午後はMicrohydroワークショップに参加した。17日午前中は自由行動とし、Danar Hadi博物館などを見学、午後帰路に着いた。

研修後の課題：

学生諸君は、研修が実施される前に、インドネシアに関する基礎的な知識を学ぶことが求められた。また、研修終了後7日以内に、英語でレポートを提出するように求められた。

総括：

学生諸君はみな、国際会議において臆することなく発表を行い、活発に質疑応答を重ね、また現地学生と交流を深めていた。また各ワークショップにおいては、ディスカッションや実践を通じて多くを学んでいた。とりわけ今回の研修は、単に技術的な専門知識を学ぶだけではなく、インドネシアの文化や社会について実際に現地の人々と交流して体験し学ぶことができた。

実質わずか6日間の日程であったが、学生諸君にとっては誠に有意義なインドネシア訪問であった。

